



メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように  
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

巻頭	多民族フェスティバル 2022 開催!!	…… 1	コラム	ブリジッド・エリンの日記	…… 8
報告	北関東多文化事情レポート	…… 4	カレンダー	2022年12月の comm cafe ランチカレンダー	…… 9
報告	秋のボランティアセミナー	…… 5	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ	…… 10

## 多民族フェスティバル 2022 開催!!



しみない拍手が送られていた。

2022年11月12日、3年ぶりに多民族フェスティバルが開かれた。コロナで中止を余儀なくされ、今年こそは!という思いが伝わるお祭りだった。例年、ブラジルの焼き肉や comm cafe シェフらによる多民族料理、箕面市立第4中学校茶道部による野点などが呼びものだったが、感染拡大防止のため飲食ブースの出店は中止、場所も縮小しての開催だった。それでも、10時を過ぎると来場者が徐々に増え始めた。ステージでパフォーマンスが始まり、プチ自慢大会のダンスやサックス演奏などに惜

### 『ワールドマーケット』『せかいのあそ VIVA!』

「ファードス」(毛糸の会)は、たくさん用意した小さな動物の編みぐるみが人気で「子どもたちが来てくれて完売しました」。「カルナーの会」(タイ北部のストリートチルドレン支援)では、美しい色合いのポシェットなどが並べられていた。売り上げの3割は作ってくれたタイの子どもたちに渡されるので、たくさん買ってほしいとの事だった。

「comm cafe」のブースではココナツクッキー(イラン)、キューバ風クッキーやドライフルーツケーキ(ロシア)など個包装されたお菓子が、これも人気を呼んで12時まで完売した。お菓子はどれも美味しかった。comm cafeのシェフはふだんは忙しく息つく間もない。これではいけない、私たちに必要なのは仲間同士のコミュニケーションと食事に来てくれた地域の人たちとの交流ではないかと、フェスティバルでの飲食



▲ comm cafe のブース

発行・差出人:公益財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp HP: www.mafga.or.jp

賛助会員数: 286名 法人会員数: 26団体 (2022年11月18日現在)



▲外国人防災アドバイザーのブース

ブース中止が決まった9月頃から、シェフたちが話し合いを重ねたのだと言う。売り終わった後は、各ブースを見て回ったり会場に来られた人たちと話をしたりと充実した時間を持てたので、3つの目標= 1) 売り上げ、2) シェフたちのチームワーク、3) 地域の人との交流が達成できたとのことだった。

「ひとこま」のキャロム(南アジアのボードゲーム)も常に挑戦者が楽しんでいて、季節外れの暑さ(25℃!)の中、テントがあっただらもっと良かった!の声も聞かれた。「ひとこま」は阪大箕面キャンパス内に2022年1月から水曜と木曜にスタートし、学生や教員、地域住民が自由に立ち寄れる場である。

『せかいのあそびVIVA!』では「豊川南小連合子ども会」のヨーヨー釣りや「多文化子ども保育」のコイン落としに人気が集まっていた。1回100円のコイン落としは楽しく、お財布と相談しながら何度も挑戦している子もいる。「多文化子ども保育」は、コロナ前は輪投げをして人気を集めていたのだが、輪投げの輪が次々と人の手に渡ることから感染拡大を心配した。何度も話し合いを持ち、世界中のコインを集めてのコイン落としに変更して成功だったね、と出店者の工夫の跡が見られた。



▲多文化子ども保育による、コイン落とし



▲箕面東高校 弓道部

ひときわ目を引いたのは箕面東高校の弓道部、黒の袴姿も凛々しく「体験してみませんか〜」と会場を回る呼び声にブースにはたくさんの方が集まっていた。私も一番軽い弓を持たせてもらったが、それでも引いてみるとかなりの力がある。「弓道部がある高校は少ないです、部員は現在18名ほどいます」と顧問。Tシャツの背にプリントされた<sup>キョウコク</sup>鶴鶴の文字は弓の的に向かうと言う意味なのだそう。

午後3時の閉店まで、どのブースもゆったりとした時間が流れていた。ボランティアとして手伝ってくれた大学生や高校生、「まーぶハローワーク」でお仕事体験をした子どもたち、この日のために遠方から駆けつけてくれた仲間との出会い、これこそが協会が一番大切にしている人と人との繋がり場だったのではないだろうか。(井嶋)



▲みのおフェアトレードの会「楓」

## 箕面山聖天宮西江寺

役行者により658年飛鳥時代に開山。日本最初の歓喜天霊場。大聖歓喜天は象頭人身のインドの神様ガネーシャが起源とされる。



〒562-0001  
大阪府箕面市箕面2丁目5-27  
072-721-3190  
阪急箕面駅より北へ徒歩約10分



写経・阿字観瞑想・お茶室体験・ヨガなど開催中



## いい出会い

「めろん」グループは今回も古本屋を開いた。まだ皆マスク姿だが結構賑わった。子ども連れの外国人の家族が子ども向けの本を2冊買ってくれた時、お金をもらおうとすると、家族のお父さんがカバンから本を取り出して私に見せた。真新しい本。表紙にはお父さんの写真があり、日本語で「パンツを脱いだあの日からー」とある。面白そうだが、彼の意図は分からなかったが、「この本買います」と声を掛けた。もらった名刺には関西バングラデッシュソサイエティ・チームリーダーとあり、本は彼の著書であった。

この本には彼の28年にわたる日本での生活が書かれていた。山あり谷あり。外国人の日本での苦労がよく分かる。コロナでバイト先を失った留学生へ緊急小口資金による支援を彼が行政と交渉した話も出ている。学ばねばいけないと思った。早速、彼に本の感想をメールした。彼からはすぐ返信が来た。

多民族フェスは、遊び、資金集めも大事だが、出会いの場として活かす事も忘れてはならない。お互いに相手の活動を知り、つながることで新たな刺激を得る出会い。来場者が我々の活動を知る出会い。旧交を温める出会い。いろいろあるが、発信したいことを準備しておくことが大事であろう。彼はちゃんと準備をしていた。今年はいい出会いをもらった。(荻野)



## JET-ALT で初のブース出店！

毎年多民族フェスティバルにも参加者として、またはボランティアとして関わってきている 箕面市内の小中学校に勤務する ALT (外国語指導助手) の先生たち。今回は初めてグループとして「世界のおそ viva！」でブース出店した。100円程度だが有料コーナーが多い中、「経済的な理由でその場に参加できない子どもを出したくない」というメンバーの強い希望があり、参加費を無料とした。輪投げはペットボトルそして段ボールを再利用したもの。平日仕事の後に、みんなで集まってワイワイ言いながら作った100%手作り品。景品はないけれど、子どもたちが飽きずに遊んでもらうようにと、ゲーム中のやり取りを工夫したり、スコアボードを作ったりして盛り上がっていた。

同じブース内で、ウクライナ出身で米国人の ALT がウクライナ支援の寄付を集めていた。100円の寄付で青と黄色のリボンバッジを渡す。「募金箱に、お財布の中身をひっくり返して全部入れてくれた子どもがいて！」と、思いがけない子どもの行動を報告してくれた。当日集まった寄付は 24,374円 で、米国を拠点とするレレカ財団を通して、現地での支援に使われるという。(末原)



「わかる」だけでは物足りない! 「わかった」だけでは成績は上がらない! 「できる」ように数林は教えます!

学校レベル別個別指導のびっくろ効果!  
見逃さないで!!

**中1~高1** 成績を上げる! 在籍校別個別指導 1:2  
週1回の通塾でOK! (80分×2コマ)  
学校の少し先を先取り学習します。  
質問取りではない、丁寧な講義と演習みっちり!!

**高2・高3** 大学受験対策個別指導 1:2  
志望大学を攻略する数学力をつける 一人ひとりにあわせた  
内容で、志望大学合格レベルに数学力を引き上げます。  
基礎復習から共通テスト対策も万全 実践力を鍛え上げ  
共通テスト200点獲得へ最短距離で導きます。

学校の成績を  
使って  
もらえるから  
わかいやあし!



受験よろず相談承ります!!

成績や進路のお悩み、成績を上げる学習ポイントなど、塾長がオンラインで御相談に応じます。(事前予約制・無料)

受験数学専門塾

数林



ホームページ  
豊中市本町1丁目2-53 高山第3ビル5F  
TEL 06-6852-1925  
https://www.suurin.com  
mail@suurin.com

## 北関東多文化事情レポート

元協会職員で、めろん編集メンバーの神谷敦子さん(現在群馬県前橋市に在住)からレポートが届いたので紹介する。

関西から見ると、馴染みが薄い北関東だが、群馬県は外国人住民が多く暮らす地域として知られている。県内で最も外国籍住民が多いのは、県の東に位置する伊勢崎市で、約13,400人。市の人口の6.3%を占める。最も多いのがブラジル国籍で3,322人、次にペルー国籍で2,370人、そしてベトナム国籍が2,695人と続く(2021年12月現在)。その伊勢崎市を中心に、群馬県や県教育委員会から「外国人児童生徒等教育・心理サポート事業」、「外国人日本語教育ボランティア養成事業」などの事業を受託し事業を行なっているのが、NPO法人Gコミュニティ(以下Gコミュニティ)である。今回、代表理事の本堂晴生さんにお話を伺った。



▲ Gコミュニティ  
本堂さん

けている。単純作業なら日本語があまり話せなくても条件はともかく、働く場所があり給料ももらえる。そんな大人(親)たちを見て育つ子どもたちは、日本語が不十分でも日本社会で何とかやっていけるのではないかと思ってしまう。さらに同じ国籍や言語を話す人たちで、固まってしまうことで地域社会とのつながりも薄くなってしまふ。

県が外国人県民に対して行った「令和2年度外国人県民アンケート」によると、「日本人との交流についてどう思いますか」という問いに対し、73.8%が「積極的に交流したい」との回答が得られた。一方、日本人県民に対して「令和2年度多文化共生・共創推進アンケート」の「外国人住民との関わりは深めるべきだと思いますか」の質問に対し、「積極的に深めていくほうがよい」の回答は11.5%にとどまった。(※アンケート結果 [https://www.pref.gunma.jp/03/ci11\\_00373.html](https://www.pref.gunma.jp/03/ci11_00373.html))

本堂さんは、世代間、そして日本人との間にすでに出てしまっている分断の芽を摘むためにも、自律した外国人住民(大人)たちが自信を持って社会に関わり、その姿を子どもたちに見せる必要があると強く感じている。

### ■「橋渡し」ができる、キーパーソンが育っていく土壌作り



▲ 養成講座の様子

### ■分断の芽

本堂さんは2009年に完全にリタイヤした後、日本語ボランティアとして活動を始めた。2008年のリーマンショックがきっかけで、ブラジル人学校の学費が払えなくなった子どもの学習支援事業「虹の架け橋教室」に関ったことで、学校に行けない子どもたちがいることを知った。そして子どもが抱える問題は親の問題と一蓮托生だと強く思ったそうだ。

伊勢崎市や隣接する太田市には、大企業や関連する企業の工場が立ち並び、多くの外国人が働いている。そのほとんどが、派遣会社を通して仕事を見つ

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

**おざわクリニック**

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30分前から受付します。

- 胃カメラは予約制です。
- 休日：火・土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日
- <http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/>
- 【住所】562-0023 箕面市業生間谷西3丁目7-9 シャトー野間1F
- 阪急バス停留所「窓の前」スーパーマルヤス向い
- ◎無料駐車場 有

TEL **072-730-0721**

fairtrade shop & cafe

Espero

エスパーオ  
能勢  
espero osaka

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00～17:00

<http://espero-osaka.com/>

箕面市国際交流協会の  
多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912  
(日本語・英語)

メール [soudan@mafga.or.jp](mailto:soudan@mafga.or.jp)

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、韓国・朝鮮語、中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター

外国人が外国人に日本語を教えるための「外国人日本語学習支援ボランティア養成講座(全11回)」は、2015年度から開催された。日本語指導法や日本の社会制度の知識など、内容は幅広い。参加費は無料。2022年度は、6月26日から11月20日まで、ほぼ2週間おきに行われている。1回の講座は約4時間の長丁場である。参加者の出身地は様々で、約10名が受講しており、全て日本語で行われている。2015年度当初から参加している、熱心な受講者もいるそうだ。実際に、外国人が外国人に日本語を教える教室も始まっている。

また外国につながるのある子どもと保護者向けの「母国語による心理カウンセリング」や「母国語による教育相談」も行っており、必要に応じて専門家につなぐ役割を担っている。こうした活動には、外国人だけでなく日本人ボランティアも関わっており、孤立しがちな外国人市民と地域社会の橋渡し役となっている。

伊勢崎市の在住外国人のうち、永住資格を持っている人は約43%、定住者の22%を加えると65%を超える。そのほとんどが中小企業で働いている。今後はそうした企業に協力してもらい、就労する外国人が能力を発揮できるよう、「仕事の日本語」の教育支援を通して「外国人リーダー」を養成していく取組みも始まっている。

#### ■インターカルチャリズム(多文化交流主義)が根付くために

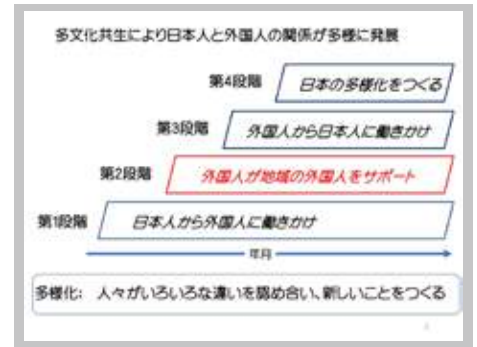
Gコミュニティは、本堂さんと約30人のボランティアたちで活動をしているが、事業の仕掛けは、ほぼ一人で行っているそうだ。自身の年齢も考えると、無責任ではいられないと感じている。現在の事業を継続し、さらに発展させていくためにも、今の

事業を分割して他の団体に任せていくことや、行政を巻き込んで、仕組みにしていけることが必要だと感じている。

社会が多様に発展していくために、本堂さんは、段階を踏む必要があると考えている(表1)。「外国人日本語教育ボランティア養成事業」や「外国人児童生徒等教育・心理サポート事業」は、第2段階にあたる。第3段階の「外国人から日本人に働きかけ」の取組みも進んできた。地元根付いた、外国につながるのある中小企業の社長たちで作るNPOがまもなく発足する。このNPOでは、日本人と外国人の橋渡しだけでなく、外国人同士のつながりも深めていきたいと考えている。

こうして1つずつ段階を踏むことで、違いを認識し、新しいアイデアが生まれ、互いを尊重する多様な社会となり、地域社会が発展していくエネルギーとなる。キーパーソンやリーダーたちが県内各地で根を張って、群馬らしい共生社会が育って欲しいと思っている。

これまでのように外国人住民を単なる「労働力」とみなしているだけでは、地域社会の発展の妨げになってしまう。インターカルチャリズムが根付くためにも、日本人、日本社会こそが意識改革をする必要があるのではないかと(神谷)



▲ 表1 (出展: Gコミュニティ)

## 報告: 2022年秋のボランティアセミナー: 2日目

2022年度秋の多文化ボランティアセミナーの第2日目は10月18日に、「医療への壁を越えるために～地域における外国人医療の現状とこれから～」と題して開催された。

講師はみのお外国人医療サポートネット(以下、医療ネット)の中村智子さん(代表)と中本剛二さん(事務局長)、コメンテーターとしてキム・ヴィクトリヤさん(立命館大学国際関係学部)を招いて、お話を伺った。

を伺った。

キム・ヴィクトリヤさんは在留フィリピン人と旧ソ連諸国(FSU)出身者を対象として調査を行っている研究者で、在留外国人が医療を受ける際の困難性として、母国との医療制度の相違や背景にある文化的な相違が大きな要因となっている、と述べた。このような課題を解決していく際の考え方として外国人と日本人の2-wayコミュニケーション、すなわち自分の文化や制度を一方向的に伝えていくのではなく、

相手の文化や制度を理解し双方向の統合をめざしていくことが重要だ、と述べた。

医療ネットは在留外国人が医療を受ける際の同行・通訳を主たる活動としているボランティア団体で、2002年に設立され本年は20周年にあたる。その活動の詳細や歴史については本記事末の情報を参照されたい。中本さんからは活動の概要およびボランティア活動という視点から、中村さんからは活動での事例がいくつか挙げられた。

医療ネットの活動とその理念は中本さんが紹介し、医療ネットによく寄せられる質問とその答えからその一端を知ることができる。

#### ・日本に来たのだから日本語を話し日本の社会になじむべきでは？

そもそも人は世界中を移動してきた。それぞれの人が持つ言語や文化的背景を尊重してそれぞれが変わりながら共に暮らせる社会を作る必要がある。

#### ・素人ができるのか？ 特別なスキルがいるのでは？

通訳するには一定の語学力とともに、医療の知識があった方がよいとは言えるが、医療のプロでなく素人だから依頼者と同じ立場で考えることができる、という面もある。また、通訳以外でも各ボランティアの得意なこと(例えば経理、PC、体力自慢、文章を書く、など)を生かすことができる。

#### ・国や自治体など、公が担うべき仕事では？

いずれはそうなってほしいとも思うが、そうなるまでには時間がかかる。また、かえって制約が生じかねない。現在、サポートを箕面市民に限定しているわけではなく、北摂全体から医療ネットを頼りにやってくる。ボランティアの自由な立場で行っていることができなくなる可能性がある。日本の社会全体として共助の仕組み(例えば家庭や地域)が衰退しているが、外国人の場合、最初から共助の仕組みそのものがないことが多く、ボランティアやNPOの活動が期待されているところがある。

医療の現場では通訳アプリやPCによる遠隔通訳などが進みつつあるが、医療ネットでは対面通訳の利点はまだまだ大きいと考えている。この点について代表の中村智子さんがセミナー参加者からの意見をメモで募った。ほとんどの方が遠隔で画面を通じたコミュニケーションを経験したことがあり、そのことのメリットは大いに認めつつも、対面での人と

人との直接的な関係性は必須とする意見であった。



筆者はそれらの意見に同意するが、20～30年前には全く使い物にならなかった機械翻訳が現在のレベルまで精度を上げているのを見ると、「心のふれあい」といった要素をテクノロジーはやすやすと超えていくかもしれない、と思っている。それよりも現時点での問題は、公の機関や医療機関などが機械を置けばそれで事足れり、としがちなことではないか。患者側、医療側でその機械は高頻度で用いられているのか、双方とも満足しているのだろうか？

今回のセミナーでは時間の制約もあり双方向のトークが十分とはいえなかった。筆者としては、このようなボランティア活動を続けていく際の達成感、充足感、やって良かったと思うことなど、またこのような疾病、さらには生命にも関わる可能性のある活動の厳しさ、この活動とボランティア自身の私的な部分との関わりなどの話を伺う時間がほしいと思った。(鷲尾)

#### \*参考

みのお外国人医療サポートネット

紹介ビデオ (YouTube)



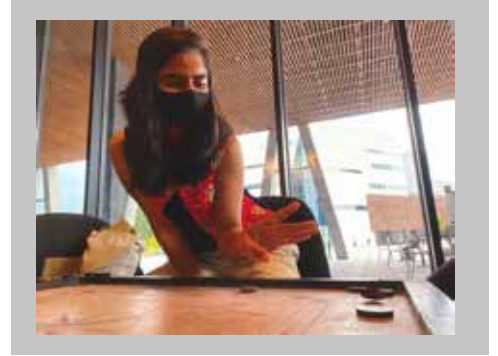
HP



めろん 173号と180号も合わせてお読みください。協会HPにPDF版を掲載しています。

## 「ひとこま」\* への手紙

大阪大学へ「メイプルプログラム」\*\*を通して、2021年10月～2022年8月まで留学していたインド出身のヴィシャ・ラクシーさん。授業の合間に「ひとこま」へ立ち寄り、南アジアのボードゲーム「キャロム」\*\*\*をしながら色々な話をした。帰国前に「ひとこま」宛にもらったお手紙を掲載する。



MAFGA へ

アンドレイさん、ひのさん、へばさん、ナーサティさん、(カラムのフクロ)、杉里予くん、他の少しも会ったことがある皆さん

大変お世話になりました。留学のいい場所を作ってくれてありがとうございます。

MAFGAがあったからこそ問題はなくても心配はなかった。ある夜お月復が痛くなった時、もし誰かに連絡しようとしたら、写真のよう？ MAFGAで留学してください。その日、お月復は入ったから言っても連絡しなかったが、次の日、MAFGAのカードを拝見し、手に入る場所においておきました。プロジェクトの時も、MAFGAのセンターで非常に力がありました。友達もこの場所があることを知って喜んでいました。もう家族やよく話す友達もMAFGAのこと知っていますよ。問題はなくても、ここへ来て会ったり話したりするのはすごく楽しかったです。いつも帰りがたくなりました。MAFGAによってカラムも人気になりましたね(笑)。ありがとうございます。来年が？「お月復」はたにかあったが、いつでも連絡してくださいね。また、いつか、どこかで会いますように！

\*ひとこま…協会と大阪大学が連携協定を締結し、外国学研究講義棟3階の1区画に、地域や社会・市民とつながり、多文化共生を発信・共創となる拠点 若者と地域がつながる居場所

\*\*メイプルプログラム…大阪大学日本語日本文化教育センターがデザインする短期留学日本語日本文化特別プログラム

\*\*\*キャロム…南アジアで広く遊ばれているビリヤードに似た卓上ゲーム。カラム、カラムと発音される場合もある。実物をご覧になりたい場合は、「ひとこま」へどうぞ

(カラム)ラフシ



2015年から2021年までの6年間、箕面市内の小学校でALT（外国語指導助手）として働いていたエリンさんは、今米国のワシントンDCで、日本のマスコミに勤務している。海の向こうから、不定期でコラムを寄せてもらいます。



## 「エリン先生は日本人なの？」

「エリン先生は日本語が喋れるから日本人なの？」

私が箕面市の小学校で英語を教えていた頃、ある1年生の子どもにこう聞かれた。担任の先生と目が合った一瞬の後、私たちの笑い声が沈黙を破った。

「子どもたち可愛いねえ！」

日本に住みはじめて、いつの間にか私は、外国人かどうかを見た目だけで判断されることが当たり前のことになっていた。職員写真を見れば、ヘーゼル色の髪や目のわたしが外国人であることは一目瞭然で、スーパーで買い物をするだけでも注目されることが多々あった。口を開く前に、「どちらの国から来ましたか？」と聞かれることもよくあった。簡単すぎる「ウォーリーをさがせ」のゲームのなかに永遠に入っているかのような気持ちになったが、まあ、しょうがないなあとも思った。

アメリカに戻った今、電車の中で周りの人を見てみると、日本で経験した感覚が完全に消えてきた事に気付く。スーツを着た黒人にアジア人、窓にもたれて寝ている白人、スペイン語の新聞を読んでいる男性、この中に外国人がいたとしても見当もつかない。アメリカの人口の13.5%は外国生まれだとされている。アメリカ生まれでも、家系には移民してきた祖先がいて、みなの子孫はそれぞれだ。しかしこんな国でも、コロナ禍で拡大したアジア人への暴力や、黒人に対する根深い差別事件を頻繁に耳にする。明らかな差別も多い一方で、日常の何気ない言動に偏見や否定的な態度が表れる「マイクロアグレッション」も一種の差別になり得る。例えば、「Where are you really from? (本当の出身地はどこなの?)」や「What are you? (あなたは何なの?)」と聞くのは、その一つの例だ。聞き方や事情にもよるが、自分がアメリカ人であることを認められていない、または疎外されているかのように聞こえる時もある。この国では、白人の私がそれを聞かれる日はきっと来ないだろう。

この話は来日3年目のころの出来事を思い出させた。私と同じような、明るい髪に高い鼻の方とたまたま出会い、英語で話し始めた。しばらくして私は、「いつ日本に来ましたか？」となに気なく尋ねた。一瞬の間の後、彼は言った。

「父親がドイツ人だけど、僕は日本生まれ日本育ちです。」

見た目と彼を外国人だと決め込んだ自分の間違いに気づくと共に、顔がだんだん熱くなっていった。そして、私の顔と髪に関係なく日本人だと考え質問してきた、あの1年生のことが頭に浮かんだ。あの時、私は6歳児に負けていた事に気付いた。(エリン)

写真：私の住むワシントンD.C.にあるアメリカ合衆国国会議事堂の前には#immigrantsareessential(移民は不可欠)という、文字のモニュメントが建てられた。





12月  
December



# comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土

9:30 - 11:30 **朝カフェ**  
11:30 - 14:00 **ランチタイム** \*売り切れ次第終了します  
- フルメニュー ¥950

14:00 - 17:00 **午後カフェ**

日・祝日 \*ランチはありません

10:00 - 13:00 **世界の朝ごはん** ¥660 (ドリンク付)

★箕面ふるさとカレンダー 2022 のテーマは「料理で世界旅行」  
comm cafe のシェフによる「箕面産野菜を使った世界の一皿！」  
毎月のシェフの日には、カレンダーのメニューが食べられます。

おしらせ

## イートイン 再開しています!

■コロナウイルス感染拡大防止対策のため、  
マスク会食にご協力ください。

2022年4月から、毎週水曜日は店休日と  
なっています。現在、新しい活用方法を検  
討中ですので、しばらくお待ちください。

☒… スナック & スウィーツの日 ☑… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
			1 アスイエさん 《イラン》	2 チャレンジ カフェ! トレースさん 《ニュージーランド》	3 ルーパさん 《インド》	4 世界の朝ごはん 《イラン》 10:00 ~ 13:00
5 休館日	6 コフさん 《タイ》	7 店休日	8 ノックさん 《タイ》	9 フランクリンさん 《キューバ》	10 協会主催事業のため ランチはお休みです。	11 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00 ~ 13:00
12 休館日	13 ホーさん 《香港》	14 店休日	15 ティーさん 《ベトナム》	16 山口さん 《中国》	17 協会主催事業のため ランチはお休みです。	18 世界の朝ごはん 《モロッコ》 10:00 ~ 13:00
19 休館日	20 ジェニーさん 《アルメニア/シリア》	21 店休日	22 ☒ MAFGA スナック	23 フランクリンさん 《キューバ》	24 ルーパさん 《インド》	25 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ~ 13:00
26 休館日	27 ☒ MAFGA スナック	28 店休日	<b>12/29-1/3 は全館閉館です。</b>			

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



# 国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで ※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

☎: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** ✉: **info@mafga.or.jp**

イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。最新情報は協会 HP を確認ください。www.mafga.or.jp

## イベント情報

定例  
イベント

### 読書会

### 多文化共生理解のための読書会

12/16 (金)  
19:00 ~ 20:30

2022年度のテーマ: 「ウトロ」から知る、在日コリアンの歴史  
100年の歴史を、宇治市ウトロ地区の在日コリアンの視点から、日本社会を学ぶ。

定員 : 10名程度 (要申込)  
場所 : オンライン (Zoom)  
参加費 : 無料  
初回参加者への配布資料があるため、要申込

### 子ども食堂

### comm cafe クラファン企画 多文化子ども食堂

12/10 (土)  
10:00-14:00

シェフがおいしい食事と楽しいゲームを、外国ルーツの子どもたちとその家族や友人に提供します。今回は中国料理。  
◎史麗 (コムカフェシェフ)

対象 : 外国ルーツの子どもとその保護者  
定員 : 25名 (要申込)  
場所 : comm cafe  
参加費 : 子ども 100円  
大人 300円

### 語学サロン

### 語学サロン~お茶をのみながら交流、講座体験しませんか?~

12/10 (土)  
14:45-16:15

協会主催の「国際理解のための語学講座」の受講生および受講を検討されている方向けに、各クラスの講師を迎えて交流体験講座を開催します。  
15:30頃~は、「英語/スペイン語で自己紹介してみよう!」他

対象 : 語学講座の受講生・受講を検討されている方  
定員 : 15名  
場所 : 2F 会議室  
参加費 : 無料

### スポーツ

### ランチタイム! 阪大でポッチャしよう

12/14 (水)  
11:30-13:30

『学生・若者と地域がつながる居場所「ひとこま」企画』\*ポッチャはパラリンピックで話題になった誰もが楽しめる欧州生まれのスポーツ。毎月1回定期開催。  
今後の予定: 1/11・2/8・3/8 協力: 大阪大学外国語学部・箕面東コミスボ

対象 : どなたでも  
場所 : 大阪大学箕面キャンパス  
参加費 : 無料  
※協会 HP から申込ください。

### イベント

### Café com Livros ブラジルブックカフェ

12/15 (木)  
13:30-15:30

恒例のブラジルブックカフェは、ブラジルに関する本、ポルトガル語の絵本を始めとした様々な書籍などが並びます。大阪大学箕面キャンパスでの開催。  
テーマ: 日本在住のブラジル人~二つのアイデンティティを生きる~

対象 : どなたでも  
定員 : 10名  
場所 : 大阪大学箕面キャンパス  
参加費 : 無料

### 年末年始の閉館について

- 箕面市立多文化交流センター
- 小野原図書館
- comm cafe

… **12/29(水) ~ 1/3(月) 閉館**

事業名	年末最終日	年始開始日	事業名	年末最終日	年始開始日
ささゆり (初級読み書き)	12/13 (火)	1/10 (火)	子どもと	12/17 (土)	1/14 (土)
			子どもも	12/17 (土)	1/14 (土)
せいなんにほんご	12/21 (水)	1/11 (水)	多言語相談		
あかね (初級会話)	12/15 (木)	1/12 (木)	韓国・朝鮮語、中国語、英語:		
ひまわり	12/16 (金)	1/06 (金)	毎週火曜日	12/20 (火)	1/10 (火)
萱野にほんご	12/16 (金)	1/13 (金)	ベトナム語、ポルトガル語:		
T.E.S. 日本語	12/17 (土)	1/07 (土)	第2・4火曜日		
ひがしにほんご	12/18 (日)	1/15 (日)	国際理解のための語学講座		
			… 12/25 ~ 2023/1/10 までお休み		

## 唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で40年の歴史~

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員

\*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Dipolma)や、日本徒手療法士会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才~80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

\*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。



〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)  
072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



## 他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。  
 コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。

<b>人権フォーラム</b> <b>12/3 (土)</b> 13:30-	<b>第36回 みのお市民人権フォーラム 全体会</b> <b>齊藤幸平さんと考える「現在・未来、そして人権」</b> 『人新世の「資本論」』で「SDGs (はアヘン)」と批判した齊藤幸平さんを迎え、人権の視点から、新しい社会のあり方について考える。 ○ロビーにてパネル展示「水平社100年の歩みから見る、部落問題の歴史と今」	「全体会」 場所：メイプルホール大ホール (箕面市箕面 5-11-23) オンライン & 見逃配信あり 参加協力券： 全体会+分科会フリーパス 1,000円 分科会フリーパス 500円 *分科会フリーパスで、すべての分科会に参加できます。
<b>分科会</b> <b>12/10 (土)</b> 13:30-15:30	<b>「部落問題」分科会 全国水平社創立100年に考える</b> <b>水平社宣言から読み解く人権教育</b> <b>～エンパワメント、レジリエンス、コミュニティカの視点から～</b> 人権教育を水平社宣言の精神を読み解くことで学ぶ。 ○谷口研二 ((公財) 福岡県事件啓発情報センター館長)	「部落問題」分科会 場所：萱野中央人権文化センター らいとびあ 21 (萱野 1-19-4) オンライン配信あり
<b>分科会</b> <b>12/17 (土)</b> 10:00-12:00	<b>「在日外国人」分科会 在日コリアンが語る多文化共生</b> 京都府宇治市のウトロ地区や茨木市のコリア国際学園での放火事件など、ヘイトクライムと考えられる事件が多発した。このような事件の起こる原因、背景や問題点はどこにあるのか。偏見や差別感情がどのように生まれるのか。同じような事件が発生しないためにも、何ができるのか、ともに考える。○郭辰雄 (コリア NGO センター代表理事)	「在日外国人」分科会 場所：萱野中央人権文化センター らいとびあ 21 (萱野 1-19-4) 主催：みのお市民人権フォーラム実行委員会 事務局 072-722-2470
<b>ワークショップ</b> <b>12/4 (日)</b> ① 10:00～ ② 13:00～	<b>アップサイクル・ワークショップ GOMI で宝物を作ろう！</b> アップサイクルとは使わなくなったモノをより価値のある新しいモノに作りかえること。ハギレ・プラスチック・空き箱・紙のつつなど、捨てないで…クリスマスツリーをつくろう。 ＊未就学児・小学校低学年のお子さんは、保護者の同伴が必要。	対象：未就学児～小学生 場所：船場生涯学習センター 多目的室2 (船場東 3-10-1) 定員：各30名 (先着順) 参加費：200円 (保険料込) 主催：箕面船場まちづくり協議会 ともテザインラボ
<b>イベント</b> <b>12/7 (水)</b> 13:30-15:30	<b>第3回「今こそ、憲法について考えよう！」</b> <b>～「憲法改正」のモヤモヤを出し合おう～</b> 知れば知るほど面白く、意義深い日本国憲法。第3回目の今回は、「憲法改正」をめぐるモヤモヤを出し合って対話します。 ○尾辻かな子 (元衆議院議員・LGBT 政策情報センター代表理事)	場所：人権平和センター豊中 (豊中市岡町北 3-13-7) 参加費：500円 (要事前申込) 定員：40名 (先着順) 主催：憲法を考える女性有志の会 m-teramoto@i.softbank.jp
<b>イベント</b> <b>12/9 (金)</b> 19:00-21:30	<b>教育カフェマラソン 話題提供者：竹本了吾さん (テラエナジ-代表)</b> 定期開催している対話型イベント。今回の話題提供者は、僧侶であり、電力事業で「温かくなつながらをつむぐ」TERA Energy 株式会社を設立されたという異色の経歴を持つ竹本さん。 何を求め、どう生きるのか、竹本さんのお話から考えませんか？	場所：オンライン 参加費：一般 700円 高校生以下 無料 定員：35名 (一般30名・18歳未満5名) 主催：NPO 法人 コクレオの森 https://peatix.com/event/3417846/view
<b>取材報告会</b> <b>12/18 (日)</b> 14:00-16:00	<b>ウクライナ南部のいま 戦時下の子どもと女性たち</b> 中東地域を中心に、長年、戦時下の子どもたちや女性を取材してきた玉本英子さん。今回は、2022年夏にウクライナ南部を訪れた際について報告会を開催する。ワンドリンク付き ○玉本英子 (アジアプレス映像記者)	場所：エスペロ能勢 (豊能郡豊能町地黄 476) 参加費：大人1,000円 高校生以下 500円 定員：20名 (要申込) 主催：エスペロ能勢 080-3764-7905 info@espero-osaka.com

## coupe de Minami スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

### 町屋で楽しく洋服をつくってみませんか？



ボディに布を直接  
のせて服をつくって  
みましょう！  
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得  
 昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー  
 昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします！ ◆パターンや立体裁断も教えます。 ◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください！

●問合せ：〒562-0012 箕面市白鳥2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151  
 E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

## めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

## めろんの広報にご協力ください!

「めろん」をより多くの方に知ってもらうために、自治会やPTA、同窓会、研修、セミナーや授業など様々な催しで、地域から多文化共生を考えるためのツールとして配ってくださいませんか。置いてくださるお店なども大歓迎! お問合せお待ちしております。

## 編 集 後 記

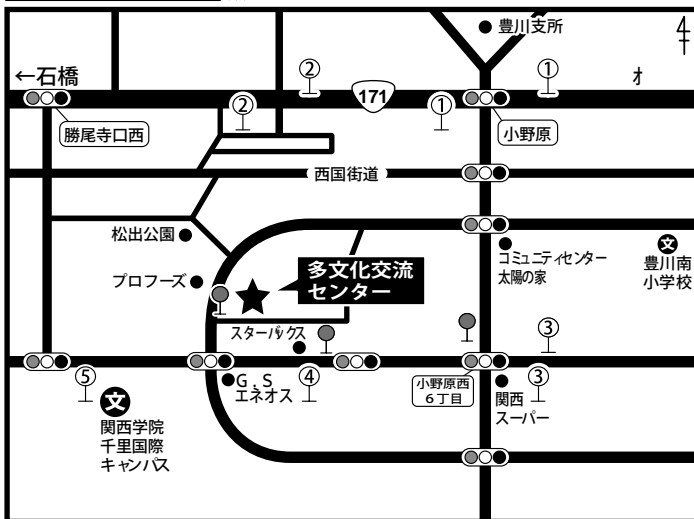
最近「登る」の「沼」にどっぷりはまっているので、お休みの日は、「明治の森箕面国定公園」内を2時間ほど、地図を片手に歩くのが恒例になっている。阪急箕面駅からスタートし、望海丘展望台、林道才ヶ原線から雲隣展望台を経て、一目千本と箕面大滝に降りる経路がお気に入り。両展望台は、箕面市内はもちろん、大阪市内の高層ビル群まで見渡せる絶景ポイントだ。

谷山谷、谷山尾根、歩けば歩くほどに、公園内は、各所に案内図や道標が配置され、ハイカーが迷子にならないための整備がすばらしい。ビジターセンター北側から始まる自然研究路には、各所に樹木や野鳥の情報など、公園内の自然を深く掘り下げた緻密な資料が掲示されている。「明治の森高尾国定公園」(東京・高尾山)と「明治の森箕面国定公園」を結ぶ現代版「東海道五十三次」東海自然歩道の西の起点がある場所でもある。

数年前の台風が原因の倒木はまだまだあるけれど、ハイカーの妨げにならないように、例えば真ん中が30センチ程度が切られてあり、またぐことなく通ることができるように手入れがされている。そして、定期的に「クリーンハイキング」という参加型山道清掃活動をされているからか、滝道でも自然歩道でも、ゴミを見かけたことは一度もない。国定公園といえども、これほどに整っているのは、この箕面の森を愛してやまないボランティアや市民の日々の活動があってこそ成せること。

今、私が当たり前「箕面の森」を散策し、その美しい自然を謳歌できているのは、先人たちが文字通り道を慣らし、保存してくてくれたからだ、その人たちの息遣いを感じながら、今日も山を歩く。過去と現在と未来のつながりを特別なもの感じられる、そんな時間だ。(末原)

## アクセスマップ



## 🚌 オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
  - (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

## 🚌 阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
	92	① 小野原 ② 小野原西

## 「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋真佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭  
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター  
Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/